

平成31年度 専攻科学生募集要項

区 分	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日
推 薦 による選抜	平成30年 5月 8日(火) ~ 11日(金)	5月19日(土)	5月25日(金)
学 力 検 査 による選抜	前 期 平成30年 5月8日(火) ~11日(金)	6月 9日(土)	6月15日(金)
	後 期 平成30年10月9日(火) ~ 12日(金)	11月10日(土)	11月16日(金)
社 会 人 特別選抜	平成30年10月9日(火) ~12日(金)	11月10日(土)	11月16日(金)



独立行政法人国立高等専門学校機構

旭川工業高等専門学校

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8121 (学生課)

FAX 0166-55-8084 (学生課)

MAIL g_nyushi@asahikawa-nct.ac.jp

URL <http://www.asahikawa-nct.ac.jp>

目 次

1 専攻科入学者に求める能力と適性（アドミッション・ポリシー）	1
2 入学者選抜の基本方針	1
3 募集人員	1
4 選抜方法	1
5 推薦による選抜	
(1) 出願資格	2
(2) 出願手続	2
(3) 選抜方法	2
(4) 合格者の発表	3
(5) 入学確約書の提出	3
(6) 推薦による選抜で合格とならなかった場合について	3
6 学力検査による選抜	
(1) 出願資格	3
(2) 出願手続	4
(3) 選抜方法	5
(4) 合格者の発表	6
(5) 入学確約書の提出	6
7 社会人特別選抜	
(1) 出願資格	6
(2) 出願手続	7
(3) 選抜方法	8
(4) 合格者の発表	8
(5) 入学確約書の提出	8
8 入学手続	8
9 入学者選抜試験成績の開示について	8
10 個人情報取り扱いについて	9
11 受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合について	9
12 その他	
(1) 募集要項の請求	10
(2) 問い合わせ先	10
「環境・生産システム工学」教育プログラムについて	11

添付書類

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 入学願書（推薦・学力・社会人特別選抜共通） | <input type="checkbox"/> 振込依頼書・振込金受取書 |
| <input type="checkbox"/> 受験票・写真票（推薦・学力・社会人特別選抜共通） | <input type="checkbox"/> 入学者選抜試験成績開示申請書 |
| <input type="checkbox"/> 推薦書（推薦選抜用） | |
| <input type="checkbox"/> 自己推薦書（推薦選抜用） | |
| <input type="checkbox"/> 調査書 | |

学生募集要項

1 専攻科入学者に求める能力と適性（アドミッション・ポリシー）

旭川高専は、専攻科修了認定方針（ディプロマ・ポリシー）に定める人材を育成するため、高専を優秀な成績で卒業したか、あるいは同程度の学力を有する人を受け入れます。

○生産システム工学専攻

生産システム工学専攻では、次のような人材を求めます。

1. 機械工学，電気・電子工学，情報工学に関連する十分な基礎学力を有する人
2. 機械工学，電気・電子工学，情報工学に関連する分野の高度な知識と技術，実践力を身に付けたい人
3. 機械工学，電気・電子工学，情報工学に関連する分野で，社会の発展に貢献できる技術者・研究者を目指す人
4. 目的に向けて，主体的かつ継続的に努力できる人

○応用化学専攻

応用化学専攻では、次のような人材を求めます。

1. 化学および生物分野に関する十分な基礎学力を有する人
2. 化学および生物分野の高度な知識と技術，実践力を身に付けたい人
3. 化学および生物関連の分野で，社会の発展に貢献できる技術者・研究者を目指す人
4. 目的に向けて，主体的かつ継続的に努力できる人

2 入学者選抜の基本方針

入学者選抜について

本校の求める学生像に見合う学生を選抜するために、次のように入学者選抜を行っています。

- 多様な学生を求めるために推薦選抜，学力選抜及び社会人選抜を実施する。
- 高専卒業程度の基礎学力を身につけていることを重視する。
- 基礎学力を活用して論理的に思考できることを重視する。

3 募集人員

専攻名	募集人員（入学定員）	
生産システム工学専攻	12名	計16名
応用化学専攻	4名	

4 選抜方法

入学者の選抜は、「推薦による選抜」，「学力検査による選抜」及び「社会人特別選抜」の3つの方法により行います。

5 推薦による選抜

(1) 出願資格

平成31年3月に高等専門学校を卒業見込みの者で、下記に該当し、学校長の推薦する者とします。

なお、旭川工業高等専門学校の学生は、出身学科の学科長が優れていると認め推薦する者とします。

出身学科における成績がクラス順位上位1/2以内の者(第1学年から第4学年までの順位が平均上位1/2以内の者又は第4学年における順位が上位1/2以内の者)

ただし、クラス順位上位1/2から2/3までの者については、学生個々の資質を総合的に判断して推薦できるものとします。

(2) 出願手続

① 願書受付期間

平成30年5月8日(火)～5月11日(金)

※受付時間は各日9時～16時(最終日は16時必着)です。

② 出願に必要な書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
受 験 票 ・ 写 真 票	「写真票」には、縦4cm×横3cm、脱帽上半身正面向き、出願前3か月以内に撮影した写真を貼ってください。 なお、「受験票・写真票」は切り離さないでください。
推 薦 書	本校所定の用紙により学校長が作成してください。ただし、旭川高専出身者は、出身学科の学科長が作成してください。
自 己 推 薦 書	本校所定の用紙により、本人が署名し記入してください。
調 査 書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封してください。 ただし、高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書も併せて提出してください。
入 学 検 定 料	16,500円 本校所定の振込用紙により、志願者本人の名義で金融機関から、平成30年4月9日(月)から平成30年5月11日(金)までの間に振り込んでください。振り込み後、「振込金受取書」(ゆうちょ銀行から振り込んだ場合、ゆうちょ銀行発行の「振込受付書」)の写しを入学願書の裏面に貼ってください。 (既納の検定料は、出願書類受理後は返還できません。)
そ の 他	現に日本国内に在住する外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

③ 出願の方法等

出願に必要な書類等をすべて取りそろえて角型2号の封筒に入れ、封筒の表に「専攻科入学願書在中」と朱書きし、本校学生課へ提出してください。書類を郵送する場合は、必ず「書留・速達」にしてください。

(3) 選抜方法

入学者の選抜は、推薦書、自己推薦書、面接及び調査書の総合判定により行います。

① 面接日時

平成30年5月19日(土) 9時から

※面接開始時刻の20分前までに本校の指定する場所に集合してください。

- ② 面接会場
旭川工業高等専門学校

(4) 合格者の発表

平成30年5月25日(金) 9時

本校構内に合格者の受験番号を掲示するとともに、受験者に合否結果を文書で通知し、併せて合格者には「合格通知書」を送付します。

また、同時刻に本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。電話等による合否の問い合わせには応じられません。

(5) 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、平成30年6月8日(金)までに「入学確約書」(合格通知書に同封)を提出してください。

(6) 推薦による選抜で合格とならなかった場合について

推薦による選抜で合格とならなかった場合に、学力検査による選抜へ出願を希望するときは、改めて学力検査による選抜の出願手続を行ってください。

ただし、調査書及び外国人登録済証明書の再提出は要しません。前期日程に出願する場合は、併せて平成30年6月1日(金)までに検定料を納付してください。

6 学力検査による選抜

(1) 出願資格

次の①から⑦のいずれかに該当する者とします。

なお、⑦で出願しようとする者は、願書受付期間の1か月前までに、本校学生課へ問い合わせてください。

- ① 高等専門学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者
- ② 短期大学を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者
- ③ 専修学校の専門課程を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- ④ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑥ 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑦ その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※ 本校専攻科の入学者は、本校が定める「環境・生産システム工学」教育プログラムの履修者となります。出願資格を満たし専攻科に入学できる者であっても、教育プログラムの修了要件を満たさない場合があります。

このため、本校出身者以外の者が本校専攻科に出願する場合は、専攻科入学前に有していることが必要な学習履歴について、本校の規定に従い、教育プログラムの修了要件を満たすことが可能か確認します。

※ 「環境・生産システム工学」教育プログラムについては、10～11ページを参照してください。

(2) 出願手続

① 願書受付期間

前期日程 平成30年 5月 8日(火)～ 5月11日(金)

後期日程 平成30年10月 9日(火)～10月12日(金)

※受付時間は各日9時～16時(最終日は16時必着)です。

② 出願に必要な書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
受験票・写真票	「写真票」には、縦4cm×横3cm、脱帽上半身正面向き、出願前3か月以内に撮影した写真を貼ってください。 なお、「受験票・写真票」は切り離さないでください。
調 査 書	本校所定の用紙により、出身学校長又は学長が作成し厳封してください。 ただし、出願資格①により出願する者で高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書も併せて提出してください。 出願資格③により出願する者は、次の証明書等も併せて提出してください。 ア 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専門課程を修了したこと及び修了見込みであることを証明する証明書 イ 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 出願資格④及び⑤により出願する者は、最終学校の卒業(修了)証明書及び成績証明書をもって代えることとします。
証 明 書 類 (英 語)	学力検査の「英語」については、筆記試験を実施せず5ページの別表に示す試験等のスコア等を換算し、その科目の得点として採用します。所有するすべてのスコア・級に関する書類(各々最高位のもの)を提出してください。 出願時は、公式認定証等の写しを提出し、学力検査当日に原本を持参してください。なお、原本は、学力検査終了後に受験者本人に返還します。
入 学 検 定 料	16,500円 本校所定の振込用紙により、志願者本人の名義で金融機関(郵便局を除く)から、前期日程は平成30年4月9日(月)から平成30年5月11日(金)までの間に、後期日程は平成30年9月11日(火)から平成30年10月12日(金)までの間に振り込んでください。振り込み後、「振込金受取書」(ゆうちょ銀行から振り込んだ場合、ゆうちょ銀行発行の「振込受付書」)の写しを入学願書の裏面に貼付してください。(既納の検定料は、出願書類受理後は返還できません。)
そ の 他	現に日本国内に在住する外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

③ 出願の方法等

出願に必要な書類等をすべて取りそろえて角型2号の封筒に入れ、封筒の表に「専攻科入学願書在中」と朱書きし、本校学生課へ提出してください。書類を郵送する場合は、必ず「書留・速達」にしてください。

(3) 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、面接及び調査書の総合判定により行います。

① 選抜日時

前期日程 平成30年 6月 9日(土) 9時から

後期日程 平成30年11月10日(土) 9時から

※試験開始時刻の20分前までに本校の指定する場所に集合してください。

② 試験会場

旭川工業高等専門学校

③ 学力検査の科目及び出題範囲

専攻名	科目及び出題範囲	
各専攻共通	一般科目	数 学 ・ 応用数学 英 語 線形代数, 1変数及び2変数の微分・積分, 微分方程式, 複素関数(正則関数), フーリエ級数 学力検査の「英語」については, 筆記試験を実施せず, 提出された試験等のスコア・級のうち, 別表の換算基準に基づき, 最も高い得点に換算されるものを採用する。
	専門科目	材料力学, 熱力学・流体工学, 電磁気学, 電気回路, 電子計算機(C言語のプログラミングを含む), 制御工学の6科目から2科目を選択する。
応用化学専攻	専門科目	無機・分析化学, 有機化学, 生物化学, 物理化学, 化学工学の5科目から2科目を選択する。

④ 学力検査及び面接の時間

科目等	時間
数学・応用数学	9:00～10:40
専門科目	11:00～12:40
面接	13:40～

○別表 (英語の証明書類及び換算基準)

試験等の種類	提出書類	換算基準
国際コミュニケーション語能力テスト (TOEIC)	公式認定証 (Official Score Certificate)	得点 = (TOEIC スコア - 200) × 0.4
	団体特別受験制度 (TOEIC IP)	個人成績表 (Score Report) *ただし, 200点以下は一律0点とし, 450点以上は一律100点とする。
英語運用能力測定試験 (TOEFL)	Internet-Based Test (TOEFL iBT) 公式スコア票 (Official Score Report)	得点 = TOEIC スコア = 12.5 × TOEFL iBT - 100
実用英語技能検定	合格証明書	準2級合格 70点 2級合格 100点

※「TOEIC」, 「TOEIC IP」及び「TOEFL」については, 学力検査日以前2年以内のスコア

を有効とします。

※「実用英語技能検定」については、準2級以上を有効とします。

(4) 合格者の発表

前期日程 平成30年 6月15日(金) 9時

後期日程 平成30年11月16日(金) 9時

本校構内に合格者の受験番号を掲示するとともに、受験者に合否結果を文書で通知し、併せて合格者には「合格通知書」を送付します。

また、同時刻に本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。電話等による合否の問い合わせには応じられません。

(5) 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、前期日程合格者は平成30年7月2日(月)までに、後期日程合格者は平成30年12月3日(月)までに「入学確約書」(合格通知書に同封)を提出してください。

7 社会人特別選抜

(1) 出願資格

出願時において、次の①から⑦のいずれかの資格を得た後、1年以上の社会人の経験(企業等での在職)を有する者とします。

なお、⑦で出願しようとする者は、願書受付期間初日の1か月前までに、本校学生課へ問い合わせてください。

① 高等専門学校を卒業した者

② 短期大学を卒業した者

③ 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる者

④ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者

⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者

⑥ 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

⑦ その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたる者
※ 本校専攻科の入学者は、本校が定める「環境・生産システム工学」教育プログラムの履修者となります。出願資格を満たし専攻科に入学できる者であっても、教育プログラムの修了要件を満たさない場合があります。

このため、本校出身者以外の者が本校専攻科に出願する場合は、専攻科入学前に有していることが必要な学習履歴について、本校の規定に従い、教育プログラムの修了要件を満たすことが可能か確認します。

※ 「環境・生産システム工学」教育プログラムについては、10～11ページを参照してください。

(2) 出願手続

① 願書受付期間

平成30年10月 9日(火)～10月12日(金)

※受付時間は各日9時～16時(最終日は16時必着)です。

② 出願に必要な書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
受験票・写真票	「写真票」には、縦4cm×横3cm、脱帽上半身正面向き、出願前3か月以内に撮影した写真を貼ってください。 なお、「受験票・写真票」は切り離さないでください。
調 査 書	本校所定の用紙により、出身学校長又は学長が作成し厳封してください。 ただし、出願資格①により出願する者で高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書も併せて提出してください。 出願資格③により出願する者は、次の証明書等も併せて提出してください。 ア 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 イ 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 出願資格④及び⑤により出願する者は、最終学校の卒業(修了)証明書及び成績証明書をもって代えることとします。
入 学 検 定 料	16,500円 本校所定の振込用紙により、志願者本人の名義で金融機関（郵便局を除く）から、平成30年9月11日(火)から平成30年10月12日(金)までの間に振り込んでください。振り込み後、「振込金受取書」（ゆうちょ銀行から振り込んだ場合、ゆうちょ銀行発行の「振込受付書」）の写しを入学願書の裏面に貼ってください。 (既納の検定料は、出願書類受理後は返還できません。)
そ の 他	現に日本国内に在住する外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

③ 出願の方法等

出願に必要な書類等をすべて取りそろえて角型2号の封筒に入れ、封筒の表に「専攻科入学願書在中」と朱書きし、本校学生課へ提出してください。書類を郵送する場合は、必ず「書留・速達」にしてください。

(3) 選抜方法

入学者の選抜は、小論文（400字詰原稿用紙3枚程度）、面接及び調査書の総合判定により行います。

① 選抜日時

平成30年11月10日(土) 9時から

※試験開始時刻の20分前までに本校の指定する場所に集合してください。

② 試験会場

旭川工業高等専門学校

③ 小論文及び面接の時間

区 分	時 間
小 論 文	9:00～10:40
面 接	10:50～

(4) 合格者の発表

平成30年11月16日(金) 9時

本校構内に合格者の受験番号を掲示するとともに、受験者に合否結果を文書で通知し、併せて合格者には「合格通知書」を送付します。

また、同時刻に本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。電話等による合否の問い合わせには応じられません。

(5) 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、平成30年12月3日(月)までに「入学確約書」(合格通知書に同封)を提出してください。

8 入学手続

入学手続については、平成31年3月上旬に別途通知します。

9 入学者選抜試験成績の開示について

入学者選抜試験成績の開示を希望する場合の手続きは、次のとおりです。

(1) 申請者

学力検査による選抜及び社会人特別選抜試験の受験者本人に限ります。(代理人による申請は認めません。)

(2) 開示内容

・総得点

(注) 推薦による選抜は、この制度による開示の対象となりませんので注意してください。

(3) 申請期間

平成31年3月18日(月)から4月30日(火)までとします。

(日曜日、土曜日及び祝日を除き、9:00~12:00, 13:00~16:00)

(4) 申請に必要な書類

① 旭川工業高等専門学校入学者選抜試験成績開示申請書

② 本校受験票

(注) 入学者選抜試験成績開示申請書には、押印欄がありますので認印をお持ちください。

(5) 申請方法

開示を請求する受験者本人が来校し、本校の受験票(コピーは不可)を提示し、学生課の窓口で申請してください。

ただし、遠隔地に居住するなどの理由で受験者本人が来校することができない場合には、郵便での申請も受け付けますので、下記問い合わせ先にご相談ください。

(6) 開示の方法

申請した日に窓口で交付の形で開示します。

申請時と同じく開示を請求した受験者本人が来校し、本校の受験票(コピーは不可)を提示してください。

なお、「(5) 申請方法」の郵便による申請者には、提出された返信用封筒を使用し、郵送により開示します。

(7) 開示期間

平成31年5月6日(月)から5月10日(金)までとします。
(日曜日、土曜日及び祝日を除き、9:00~12:00, 13:00~16:00)

(8) 問い合わせ先

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号
旭川工業高等専門学校 学生課
TEL 0166-55-8121

10 個人情報の取扱いについて

出願の際に取得した氏名、住所、その他の個人情報は、入学者選抜、入学手続き及び入学者選抜方法等の改善に関する業務のために利用します。

また、入学者については、学籍管理、入学料・授業料免除、奨学金申請、授業料等に関する業務を行うために利用します。

11 受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合について

身体に障害があり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、次の期日までに本校学生課へ申し出てください。

推薦による選抜		平成30年 4月20日(金)まで
学力検査による選抜	前期日程	平成30年 4月20日(金)まで
	後期日程	平成30年10月12日(金)まで
社会人特別選抜		平成30年10月12日(金)まで

12 その他

(1) 募集要項の請求

募集要項は、本校学生課へ請求してください。

(2) 問い合わせ先

募集要項に関する問い合わせ先は、次のとおりです。

旭川工業高等専門学校 学生課
〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号
TEL 0166-55-8121
FAX 0166-55-8084
e-mail g_nyushi@asahikawa-nct.ac.jp
URL <http://www.asahikawa-nct.ac.jp>

「環境・生産システム工学」教育プログラムについて

旭川工業高等専門学校では、国際的な工学教育の水準を満たし、21世紀の社会に貢献できる能力を持った技術者を育成するために、本科第4・5学年及び専攻科のカリキュラムで構成される旭川工業高等専門学校「環境・生産システム工学」教育プログラムを設けています。

この教育プログラムは、日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education：JABEE）の認定を受けており、教育プログラム修了生は「修習技術者」となり、国家資格である「技術士（Professional Engineer）」の第1次試験が免除されます。

1 教育プログラムがめざす技術者

教育プログラムで養成しようとする技術者は、工業の基幹分野である機械システム工学、電気情報工学、システム制御情報工学、物質化学工学等のそれぞれの専門分野の知識をベースに、異なる分野の知識をも活用し、融合・複合化の進んでいる多様な工業技術システムに関して、地球環境にやさしい技術や研究開発を企画、設計、デザインできる能力を持った技術者です。

また、技術の社会における役割をしっかりと把握し、常に日本及び世界の歴史、文化を視野に収め、科学技術が社会や自然環境に及ぼす影響を考察し、その社会的責任を自覚する技術者倫理を持った技術者です。

このように、教育プログラムでは、多角的な視点で自ら考え、新たな価値を創造・開発でき、それをシステム化し、あるいは再構築する能力を持った技術者を養成することを目指しています。

2 教育プログラムの学習・教育到達目標

上に述べた技術者を養成するため、本教育プログラムでは、次のような学習・教育到達目標を設定しています。

- A 地域社会、産業社会の様々な要求に応えるために既存の情報機器・分析機器を使いこなし、新しい技術にも対応できる能力を持った技術者の育成
 - A-1 数学・自然科学・情報技術に関する知識を有し、それを活用することができる。
 - A-2 基礎工学の知識・能力をもとに、地域・社会の要求を理解し、それに対応することができる。
 - A-3 基礎的実験・実習の技術を習得し、それを活用することができる。
- B 日本及び世界の歴史、文化に対する知識と教養に基づいて物事を認識するとともに、科学技術が社会や自然環境に及ぼす影響を考慮し、その社会的責任を自覚する技術者倫理を持った技術者の育成
 - B-1 日本の文化について理解し、説明することができるとともに、文化の多様性を認識することができる。
 - B-2 地球的視点から多面的に物事を考え、自己の教養を高めるための努力を継続することができる。
 - B-3 専門分野の知識と社会的良識に基づいた職業倫理を持ち、自己の技術や行為が社会に及ぼす影響について考慮することができる。
- C 論理的思考に支えられた明晰な日本語を用いて記述し発表する能力、学会等において討議できるコミュニケーション能力及び国際的な場でのプレゼンテーション等の基礎的コミュニケーション能力を持った技術者の育成
 - C-1 適切な日本語を用いて、記述・発表・討議することができる。
 - C-2 外国語による基礎的コミュニケーションができる。
 - C-3 英語で記述された技術論文、取扱説明書等を理解することができる。
- D 多様な工業技術システムを理解し、地球環境に優しい技術開発や研究を遂行できるエンジニアリングデザイン能力を持った技術者の育成

- D-1 基礎工学及び専門工学に関する知識・技術を有し、それを活用することができる。
- D-2 データを分析・解釈し、正しく結論を導き出すことができる。
- D-3 工学全般の知識・技術をもとに、環境に配慮した技術開発や研究を企画し、遂行することができる。
- E 多角的視点で自ら考え、新たな価値を創造・開発することができ、それをシステム化する、あるいは再構築する能力を持った技術者の育成
 - E-1 共通的工学関連分野の基本的な知識を有し、さらに自主的・継続的に学習することができる。
 - E-2 チーム活動を通してメンバーの同意形成を図り、協調しながら一つの目的を成し遂げることができる。
 - E-3 複眼的な思考能力をもとに、創造性を発揮して新たな課題を探求し、解決することができる。

3 教育プログラムの履修資格

専攻科に入学した方が、旭川工業高等専門学校「環境・生産システム工学」教育プログラムの履修者となります。しかし、本教育プログラムは旭川工業高等専門学校の本科第4・5学年及び専攻科のカリキュラムで構成されていますので、募集要項の出願資格に定める専攻科に入学できる者であっても、本教育プログラムの修了要件を満たさない場合があります。その場合は、専攻科入学後、教育プログラム履修規程等に定められた基準により単位を修得する必要があります。

4 専攻科入学前の学習履歴

教育プログラムの履修者は、専攻科入学前に次の学習履歴を有していることが必要です。

- (1) 第4学年及び第5学年において62単位以上を修得していること。
- (2) 別に定める必要科目数を履修していること。

5 教育プログラムの修了要件

本教育プログラムを修了するには、次の要件をすべて満たす必要があります。

- (1) 専攻科を修了し、学位（学士）を取得する。
- (2) 教育プログラムにおいて124単位以上を修得する。
- (3) 学習・教育到達目標の達成度評価対象とその評価方法及び評価基準を充足する（TOEICスコア400相当以上の語学力を有する、特別研究の研究成果を学外に公表する等）。

6 教育課程

教育課程は、一般科目、基礎能力科目及び基礎工学並びに専門工学の知識・能力科目で構成されています。

7 学位（学士）の取得方法

本校の専攻科を修了し、一定の条件を満たした方については、大学を卒業したものと同等以上の学力があると認められた場合に、大学改革支援・学位授与機構から学士（工学）の学位を取得できます。

平成31年度 旭川工業高等専門学校専攻科

入 学 願 書

				受験番号	※		
志 望 専 攻 名	専 攻			選抜区分 (該当する選抜 に○印を付け ること)	推 薦 選 抜 学 力 選 抜 社会人特別選抜		
ふりがな		男 ・ 女	生年月日 (西 曆)	年 月 日			
氏 名							
現 住 所	〒 — Tel — —						
出願資格	高等専門学校 学科 短期大学 科 専門学校 科 (昭和・平成 年 月 日 卒業・修了・卒業見込み・修了見込み)						
	所在地	〒 — Tel — —					
中 学 校 卒 業 後 の 学 歴	昭和・平成 年 月	中学校卒業		専 門 科 目 選 択 欄 (2科目を選択し○印を付けること。)	生 産 シ ス テ ム 工 学 専 攻	材料力学	
	昭和・平成 年 月	入学				熱力学・流体工学	
	昭和・平成 年 月					電磁気学	
	昭和・平成 年 月					電気回路	
	昭和・平成 年 月					電子計算機	
職 歴	昭和・平成 年 月			応 用 化 学 専 攻	制御工学		
	昭和・平成 年 月				無機・分析化学		
	昭和・平成 年 月				有機化学		
	昭和・平成 年 月				生物化学		
	昭和・平成 年 月				物理化学		
勤務先名 及 び 所 在 地	〒 — Tel — —						
合格通知 等の連絡 先	〒 — Tel — —						

- (注) 1 ※欄は記入しないでください。
 2 ボールペン等で正確かつ明瞭に楷書で記入してください。
 3 推薦による選抜の結果、合格とならなかった場合に学力選抜(前期日程)に出願を希望する者は、専門科目選択欄の記入が必要です。なお、社会人特別選抜に出願する者は、専門科目選択欄の記入は不要です。
 4 専門選択科目の変更は認められません。

ここに「振込金受取書」（ゆうちょ銀行から振り込んだ場合、ゆうちょ銀行発行の「振込受付書」）の写しを貼ってください。

（全面のり付け）

<推薦選抜における注意事項>

- 1 面接開始時刻の20分前までに受付を済ませ、受験者控室へ入室してください。
- 2 受験票は常に携帯してください。
- 3 受験票を紛失又は当日忘れた場合は、直ちに入試本部に申し出て再交付を受けてください。

<学力・社会人特別選抜における注意事項>

- 1 試験開始時刻の20分前までに受付を済ませ、試験室へ入室してください。
- 2 受験票は常に携帯し、受験するときは必ず机上の受験番号札の横に置いてください。
- 3 受験票を紛失又は当日忘れた場合は、直ちに入試本部に申し出て再交付を受けてください。
- 4 机上には、受験票、鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、その他許可された物以外の物は置かないでください。

平成31年度
旭川工業高等専門学校専攻科
**入 学 志 願 者
受 験 票**

受験番号	※
志望専攻名	専 攻
ふりがな	
氏 名	
生年月日 (西暦)	年 月 日
専 門 科 目 選 択 科 目 名	

推薦選抜日時	面接開始時間	
5月19日(土)	別紙のとおり	
学力選抜日時	科目等	時間
前期 6月9日(土)	数学・応用数学	9:00 ~ 10:40
	専門科目	11:00 ~ 12:40
後期 11月10日(土)	面接	13:40 ~
社会人特別選抜日時	科目等	時間
11月10日(土)	小論文	9:00 ~ 10:40
	面接	10:50 ~

記入上の注意

- 1 ※欄は記入しないでください。
- 2 社会人特別選抜に出願する者は、専門科目選択科目名欄の記入は不要です。
- 3 切り離さずに提出してください。

平成31年度
旭川工業高等専門学校専攻科

入 学 志 願 者 写 真 票

受験番号	※
志望専攻名	専 攻
ふりがな	
氏 名	
生年月日 (西暦)	年 月 日
専門科目 選択科目名	

写真貼付欄

写真の裏に氏名
及び志望専攻名
を記入し、この大
きさに切って全
面のり付けして
ください。

(4cm×3cm)

記入上の注意

- 1 ※欄は記入しないでください。
- 2 社会人特別選抜に出願する者は、専門科目選択科目名欄の記入は不要です。
- 3 切り離さずに提出してください。

推薦選抜用

受験番号

※

平成31年度 旭川工業高等専門学校専攻科

推薦書

平成 年 月 日

旭川工業高等専門学校長 殿

学校名

学科名

学校長名
(学科長名)

印

下記の者は、学業成績、人物ともに優れており、貴校の専攻科推薦入学にふさわしい者と認め、推薦いたします。

記

志願者氏名

生年月日
(西 暦)

年 月 日

推薦理由 出願資格のただし書きによるものは、総合的判断となった理由を明記してください。

--

推薦選抜用

受験番号

※

平成31年度 旭川工業高等専門学校専攻科

自己推薦書

志望専攻名

氏 名

1 高専在学中に行ったことでアピールできること。

2 専攻科でやってみたいこと。

※

調 査 書

		受験番号		※	
志望専攻名	専 攻		国・公・私	高等専門学校・短期大学・専門学校 学科・科	
ふりがな			学 校 ・ 学 科 名	昭和・平成 年 月 日 入 学 ・ 編 入 学 ・ 転 入 学	
氏 名	男・女			昭和・平成 年 月 日 卒 業 ・ 修 了 ・ 卒 業 見 込 ・ 修 了 見 込	
生年月日 (西暦)	年 月 日				
成績・修得 単位証明書	出身校所定の用紙により、学校長が作成したものを厳封の上、添付するものとします。 なお、成績の評定は右表の評定基準によってください。		評 定 基 準	評定の区分	点 数 の 範 囲
		秀		100点～90点	
		優		89点～80点	
		良		79点～70点	
		可		69点～60点	
		不可	59点～0点		
卒業研究 題 目					
在 学 中 の 状 況				学 科 内 席 次	
				1年	人中 位
				2年	人中 位
				3年	人中 位
				4年	人中 位
		5年	人中 位		
上記のとおり相違ないことを証明する。 平成 年 月 日 学校名 学校長名 印					

(注) 1 ※欄は記入しないでください。

2 在学中の状況欄には、人物、課外活動、生活態度等を記入してください。

注意事項

※各票の太線の中のみボールペンで記入してください。

※入学願書提出前の所定の期間内に金融機関窓口で振り込んでください。(振込理由を明確にするため、ATMは不可。)

※志願者本人の名義で振り込んでください。

※振込金受取書の写しを入学願書の裏面に貼り付けてください。

※ゆうちょ銀行から振り込む場合は、この用紙を使用することは出来ません。郵便窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り記入いただく必要があります。振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領し、その写しを入学願書の裏面に貼り付けてください。
(ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。)

切 り 取 り 線

振込金受取書

平成 年 月 日				
金額	¥	1	6	500
先方銀行	株式会社北海道銀行大町支店			
お受取人	預金種目	普通預金	口座番号	0474397
	高専機構本部 様			
(志願者本人) ご依頼人		様		
備考	手数料			円

上記の金額正に受け取りました。

(取扱店)

店

(取扱店→依頼人)

収入
印紙

電信

振込依頼書

科目					
ご依頼日	平成 年 月 日	電信扱		手数料	円
先方銀行	株式会社北海道銀行大町支店		金額	¥	1 6 5 0 0
お受取人	預金種目	普通預金	口座番号	0474397	内訳
	(フリガナ) コウセンキコウホンブ			現金	
	高専機構本部 様			当手	
ご依頼人 (志願者本人)	八王子市東浅川町701-2			収入印	振替科目
	(フリガナ)				
	(おなまえ) 様				
(おところ)		(電話)		-	

(取扱店保管)

旭川工業高等専門学校入学者選抜試験成績開示申請書

平成 年 月 日

旭川工業高等専門学校長 殿

私に関する、平成31年度入学者選抜試験（学力検査による選抜及び社会人特別選抜）における入学者選抜試験成績（総得点）の開示を下記により申請します。

記

フリガナ 請求者氏名	印
生年月日	
住所	(〒 —)
電話番号	— —
受験番号	
志望専攻名	

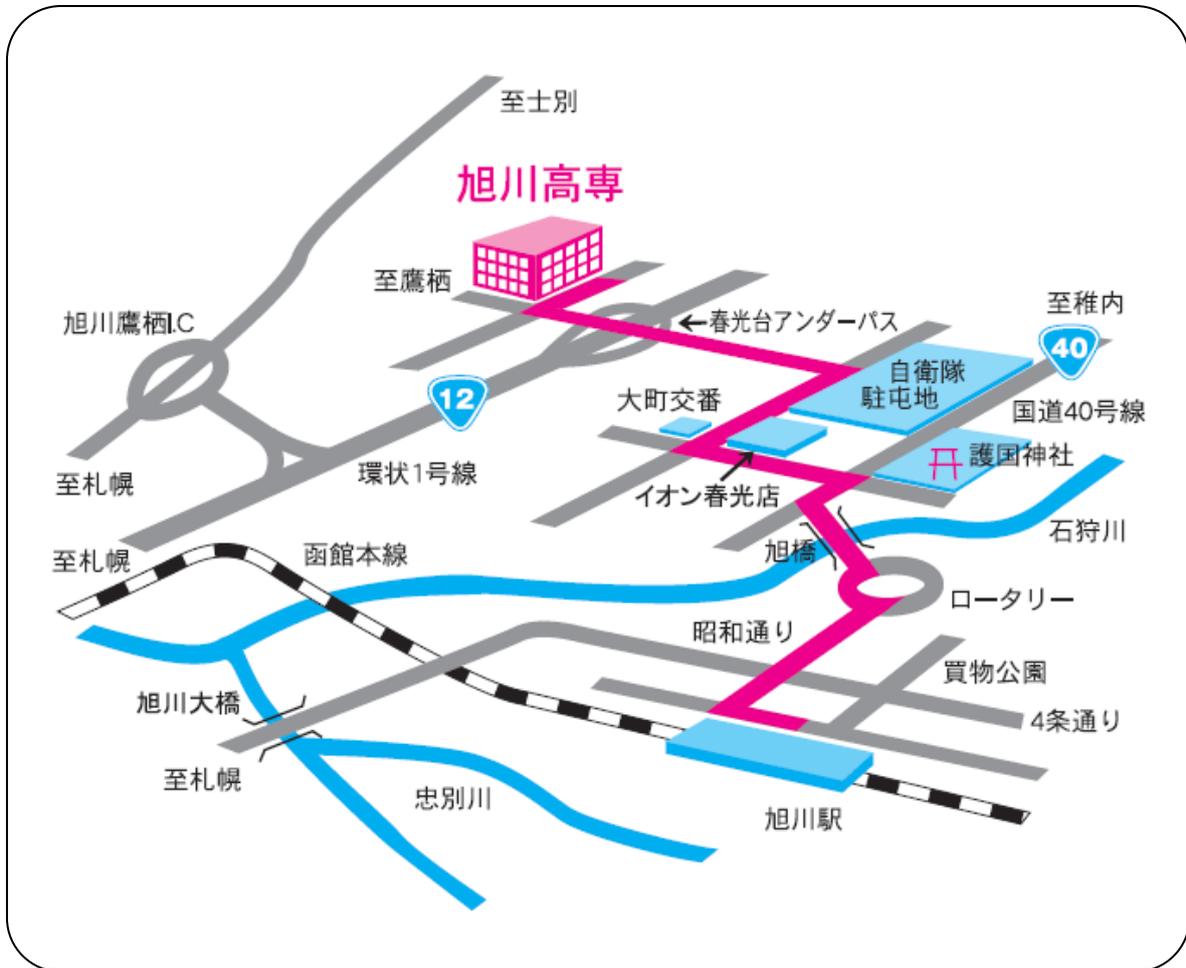
(注)

本人確認のため、受験票を提示してください。受験票を紛失した場合は、本人確認できるもの（学生証等）を提示してください。

※この欄は記入しないでください。

受理年月日	年 月 日	受付担当	
-------	-------	------	--

旭川工業高等専門学校位置図



アクセス

- JR「旭川駅」から約7km
 - ・旭川駅前バスタッチ④のりばから、道北バス 29番「循環 春光台～実業高校～旭川駅」または 30番「旭川駅～春光台 4条5丁目」に乗車し「高専前」下車。約25分。
 - ・自動車で約20分。
- 道央自動車道「旭川鷹栖IC」から約4km
 - ・自動車で約10分。
- 旭川空港から約25km
 - ・自動車で約40分。

独立行政法人国立高等専門学校機構
旭川工業高等専門学校
 〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号
 TEL 0166-55-8121 (学生課)
 FAX 0166-55-8084 (学生課)
 e-mail g_nyushi@asahikawa-nct.ac.jp
 URL <http://www.asahikawa-nct.ac.jp>